

インターバンクの声（2016年3月16日）

それほど期待していなかったはずなのに、いざ日銀の追加緩和見送りが決まるとやはりドル円は徐々に円買いに進み始めた。ただ、ロンドン市場の朝方に113円を簡単に割り込んだものの、112円台での円買い継続にはブレーキがかかってしまった。翌日とは言っても、米連邦公開市場委員会（FOMC）を控え、何より2月の米小売売上高や生産者物価指数の発表がニューヨーク市場が開いて直ぐにあり、市場動向の鍵を握っている原油の値動きも気になったのだろう。その小売売上高が冴えず、しかも前月の数字が大幅に下方修正された上に、原油もWTIが36ドル台まで下げ始めていたとあって、今度こそ112円台前半まで円買いが進むかと思われたが、意外にも112円60銭台までだった。一時100ドル超值下がりしていたニューヨーク・ダウが下げ幅を縮小し始めたことや、FOMCが改めて物価や雇用動向に強気な見方を示してくれば年内の利上げ回数予想が再び2-3回程度に戻ることを警戒したのかも知れない。日本時間の明日未明頃までは、113円台前半を中心にした取引が続くそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。